

熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ
Quarterly magazine FOYER
2021 spring

つながる、ひろがる、あつまる
ほわいえ

008

FOYER

What is the Art Learning ?

Special feature
アートラーニング in 新しい生活様式
新しい生活様式に、
新しい文化・芸術の風

熊本県立劇場 文化事業
2021年度 公演ラインナップ



横山 幸雄
ピアノコンサート
Yoko Yamaoka

2021年6月6日(日) 開場 16:30
開演 17:00

会場／熊本県立劇場コンサートホール

[チケット前売り] S席/4,500円 A席/4,000円 B席/3,500円
●当日券は各チケットプラス500円

[チケット取り扱い] (株)有明楽器 健軍本店/八代支店
熊本県立劇場 ローソンチケット

お問い合わせ (株)有明楽器 TEL 0120-968-133

©アールアンフィニ

 **熊本県立劇場**
KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER

【企画・発行】
公益財団法人 熊本県立劇場
熊本市中央区大江2-7-1 〒862-0971
www.kengeki.or.jp

【編集・制作・印刷】
株式会社 ジャム
熊本市中央区練兵町45早野ビル1階 〒860-0017
www.jam-cf.com

熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ 2021 spring 発行日:2021.3.20 ※掲載内容は3.10現在のものです。

What is the Art Learning ?

special feature
アトラージング in 新しい生活様式

新しい生活様式に、
新しい文化・芸術の風

文化・教育の場の
新しいカタチ。

新型コロナウイルス感染症の広まりとともに幕を開け、緊急事態宣言を受けて外出自粛要請、リモート授業、テレワークといった、これまで経験したことのない生活を余儀なくされ、新しい生活様式「withコロナ」が人々の生活に定着しつつある中で幕を閉じた2020年。コロナ禍がもたらした影響は、あらゆる業界に深くその爪痕を残し、2021年に入っても、コロナとともにある生活はしばらく続きそうです。文化・芸術活動においてもコロナ禍の影響は大きく、人が集まる公演活動は自粛する動きがあり、実現できた公演の数も減らして開催するなど、これまでのような活動ができない状況が続いています。文化・芸術活動は不要不急のものなのか。コロナ禍の中で議論が交わされたこともありましたが、日常の中でふとした瞬間にふ

れる音楽や、舞台上で繰り広げられる物語に心が動かされる、日常では経験できないひとときが、いかに私たちの生活の中に潤いを与えていたのか、あらためて気づいた方も少なくないと思います。そう、文化・芸術は私たちの生活に必要なものだ。熊本県立劇場は、文化・芸術活動を支えるひとつの組織として、コロナ禍の中、アーティストの活動を支援する動画公開、舞台芸術の魅力を伝える活動などに注力してきました。その活動の一端としてYouTube配信による「文化教育の場」の提供を目的とした「アトラージング in 新しい生活様式」支援事業に取り組んでいます。これまでステージやレッスンを生業として、文化・芸術活動を行っていた多くのアーティストたちが、コロナ禍の中、発表や教育の場を失っていることを受けて熊本県が企画したもので、県劇では動画制作・配信業務を

レッスン動画の内容やシナリオは、制作スタッフとともに作成。



撮影をしながら何度も流れを確認して納得のいくものに仕上げる。





撮影の回を重ねるごとに、「伝える」ための様々な工夫が盛り込まれるように。

担当しています。日本舞踊、邦楽ダンス、日本画、フラワーアレンジメント、書道など、様々なジャンルの15団体・個人のアーティストが参加。YouTubeでレッスン動画を配信するという新しい試みに、2020年の11月から取り組みました。

第一回の配信は、講師であるアーティストの紹介やそのジャンルの歴史、使っている道具などの解説動画を制作。初めてそのジャンルにふれる人にも、気軽に文化・芸術を楽しんでいただけるように工夫しました。第二回以降は、初心者、中級者、上級者向けのレッスンと、段階を追うごとにステップアップしていく構成です。レッスン動画の撮影は、動画撮影・編集のスタッフと、講師となるアーティストが毎回何を伝えていく動画にするのか、どんな人にどう感

じて欲しいか、それぞれの立場からアイデアを出し合って進められました。ふだんのレッスンとは違い、YouTube配信の場合は、不特定多数の相手に向けての発信です。目の前には生徒さんではなく多数のカメラ。誰に向かって話しているのか、最初は戸惑いも見られた撮影現場でしたが、回を重ねるごとに緊張がほぐれていく様子が手に取るように感じられました。

「アーティストニングin新しい生活様式」のレッスン動画は、3月までにすべての動画が公開されています。それぞれの講師であるアーティストが制作スタッフとともに、たくさんの人に楽しんでもらえるよう、心を尽くしてつくっています。おうちに居ながら、プロの技術を学び、芸術・文化にふれるひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

Artist comment
やまが和楽器伝承塾
小路永こずえ・和奈(箏)

カメラの前で説明するのは、生徒さんなど人の目の前で指導するのは、まったく感覚が違いました。私が話していることにならずいてくれる人がいればいいのだけど、カメラはうなずいてはくれません(笑)。撮影は緊張の連続で苦労した点も多くありましたが、編集された動画として配信されたものを見た時、とても楽しい気分になりました。この動画を通して、多くの人に箏の音にふれてほしい。ちょっとした箏に興味を持っていただけるような動画にしていきたいと、いろいろと工夫しました。



右から
小路永こずえさん、和奈さん

(一社)Nフラワーデザイン
インターナショナル 熊本支部
本田浩隆(フラワーアレンジメント)

今回レッスン動画を配信するにあたり「お花のどこが好きなのか」「お花で何を伝えたいのか」などに向き合い、あらためて自分の原点に立ち返るいい機会となりました。動画でお花の素晴らしさを伝えられたか不安ですが、精一杯伝えたいつもりです。また、お花のレッスンだけでなく、今回は手話を使った指導にもチャレンジしました。まずは、たくさんの人に楽しんでもらうことが第一。ユニークな演出で、お花に対する敷居の高さを少しでも低くできたらと、くまモンの紋付き袴で挑みました。



エストゥディオ・アレグリアス
林田紗綾(フラメンコ)

コロナ禍の中、レッスン動画を撮影して生徒さんに直接送ったりしていたので、動画での配信に可能性を感じていました。今回の「アーティストニング」は、生徒さん対象ではなかったものの、動画を見られる人がどんな人なのか、想像しながら踊りました。フラメンコは敷居が高いイメージだと言われますが、動画を見た人が一歩踏み出して、やってみたい、と感じてもらえたら。一緒に動画を制作してくださったスタッフの方と、準備をしながらやるべきことが見え、実際にやってみることが大事だと痛感しました。



YouTubeでレッスン動画を配信
「アーティストニングin新しい生活様式」

おうちに居ながら文化・芸術が学べる動画。日本舞踊、邦楽、ダンス、日本画、フラワーアレンジメント、書道など、様々なジャンルのレッスン動画を、各5回ずつ配信しています。

YouTubeチャンネル



熊本県立鹿本農業高校
郷土芸能伝承部



左から、大須賀 良昭くん、高橋 優衣さん、日野 琴音さん、富吉 いおりさん、宮下 菜緒さん、井 清志郎くん

「よへほく、よへほく」の語りかけとともに、金灯籠を頭に掲げた女性が舞い踊る「山鹿灯籠踊り」。毎年8月に開催される「山鹿灯籠まつり」のクライマックスを飾る「千人灯籠踊り」は幻想的で、九州でも屈指の夏祭りとして知られています。この山鹿灯籠踊りの女性の頭にある灯籠。その起源をたどると、第12代景行天皇の巡幸を松明を掲げてお迎えしたことが由来。その松明が室町時代に紙製の金灯籠に姿を変えたことから、糊と手漉きの和紙だけでつくられる伝統工芸品の山鹿灯籠が伝わったといわれています。

熊本県立鹿本農業高校の郷土芸能伝承部は、山鹿灯籠踊りを活動の中心とし、日々の練習を行っています。昭和63年(1988)に全国高等学校総合文化祭(以下「総文祭」)が熊本県で開催されたことをきっかけに創部。当初は踊りだけの部活動でしたが、創部から5年後には地方(じかた・太鼓や三味線の楽器)や唄の養成をはじめようになりしました。顧問である中川留美子先生自身も、鹿本農業高校の出身で、この郷土芸能伝承部に所属していたという経歴をお持ちです。

歴史が深く
全国にも知られる
山鹿灯籠踊り

郷土芸能伝承部は、イベントや大会、地域の祭りなど年間約30回の舞台に立っています。2年生の宮下さん、富吉さん、日野さんは、入部のきっかけについて「勧誘のチラシ」と声を揃えます。このチラシは、毎年顧問の中川先生が作成しているとか。2020年はコロナ禍で新入生への部活動勧誘が禁止され、名物の勧誘チラシは作成されなかったものの、1年生2名が入部。3年生が卒業した現在、総勢6名の部員で活動を行っています。「今年度はイベントやまつり、遠征にも行けず、1年生にはその経験をさせてあげられなかったのが悔しい」と語る中川先生。総文祭にはweb参加となり、2020年の総文祭熊本県大会では、舞台に立ってものの、無観客での審査になったといいます。「夏の全国大会は観客の前で披露したい」と語るのは、2年生の地方担当井くん。「大きな舞台が初めてだから楽しみ」と1年生の大須賀くんも高橋さん。舞台に立てなかつた2020年があったからこそ、舞台に立つ時、全力を尽くすことを部員全員で再確認したといいます。

全力を尽くして
舞台に立って
総文祭に挑む



平日は2時間、土曜は4時間の練習を行っているという「郷土芸能伝承部」。いつでも観客の前で山鹿灯籠踊りを披露できるように、練習は怠らない。

熊本県プロダンスインストラクター協会
技術と芸術性を磨いて
社交ダンスファンを
増やしたい

熊本県プロダンスインストラクター協会は、公益財団法人である日本ボールルームダンス連盟の認可団体で、平成10年に設立されました。現在は熊本県内の65名のインストラクターが所属し、ダンスの技術向上に取り組んでいます。会長は2年に一度、選挙によって選出され、8年前に青山貴紀さんの会長就任を機に、技術向上に加えて、社交ダンスの普及活動をメインに行っています。

協会としての大きなテーマは、「社交ダンスを踊る人、興味を持つ人を増やすこと」。それを実現するためには、より多くの人の目に触れ、社交ダンスのきらびやかな世界を感じてもらおうことが大切だと考え、熊本の地域のまつりなどに積極的に参加。熊本市の夏の風物詩である「火の国まつり」では、社交ダンスのドレスを着て、おてもやんを踊っているの、かなり注目を集めているとい

ます。この他にもテレビのチャリティ番組などに参加するなど、啓蒙活動に注力しています。毎年10月には協会が事務局となって「アートダンスフェスティバル」を熊本県立劇場で開催。20年以上続いているこのアートダンスフェスティバルは、各教室の生徒さんにとっての大きな晴れ舞台で、社交ダンスを習うことの大きなモチベーションになっています。「演劇ホールは大きな舞台、そしてスポットライトは格別です。衣装のスパークルがキラキラと映えて、本当にキレイなんです」と語る会長の青山さん。令和2年はコロナ禍の影響で、アートダンスフェスティバルが初めて中止となり、その他にも予定されていたイベント、教室ができない状況下、コロナ禍においても安全に開催できるよう工夫を凝らし、令和3年のイベント開催に生かしていく予定だといいます。「ダンスに興味を持つきっかけはなんでもいい。海外で仕事する人にとっては、コミュニケーションツールにもなるし、踊らなくても『見る専門』でもいい。最近では発表会などのステージでワークショップに力を入れています」。



青山 貴紀 [あおやま たかし]
熊本県プロダンスインストラクター協会会長
青山ダンススクール 主宰



毎年10月に熊本県立劇場で開催されている「アートダンスフェスティバル」。2020年はコロナ禍の影響で中止となったが、2021年は10月3日(日)、演劇ホールにて開催予定。

OPEN! BACKSTAGE

コラムでつなく交流の場

舞台さんお仕事道具

つかみ

舞台道具「つかみ」をご覧になったことはありますか？

合唱や吹奏楽などでひな段を組んだことがあるみなさんは、仕込みで「つかみ」を入れる作業をお手伝いされたことがあるかもしれません。「つかみ」とはその名の通り、あるものを掴むために使います。以前ご紹介した舞台道具「平台」を注意深く見てみると、「つかみ」に対応する小さな溝があることに気がつきます。

「図解舞台美術の基礎知識」(滝善光著)の舞台用語集の中では、「つかみ」は「平台と平台をつなぐ金物。手で物を掴む形に似ている。」と紹介されています。



「つかみ」を複数組み合わせる際に、この「つかみ」を入れられると、力が加わったときにずれずまいますので、特に人が乗ったときには、バランスを崩し転倒して怪我をしてしまう危険があります。舞台スタッフは、平台を複数組み合わせる際は、毎回この「つかみ」を入れ忘れていないか、仕込みや慌ただしい転換の中でもしっかりと点検します。

そして、舞台スタッフにはこの「つかみ」のような役割が求められます。主催者のみなさんの要望と劇場機構を安全に使っていただくことの要所をしっかりと掴んで、仕事をしています。

県劇スタッフリレーコラム 舞台技術グループ 田中泰憲「なかやすのこ」

「さくおとな」です

劇場に勤めて幾星霜、これまで舞台技術の仕事を中心に担当してきました。私も世間的には「いいおとな」でも、いくつになってもおもちやが手放せない「大きな子ども」です。

若い頃は車いじりに夢中になり、タイヤやホイールなどを変え、さらにオーディオ類にもこだわり、好きな音楽を大音量でかけながらあてもなくドライブをしていましたが、家族が増えて、その車も買い替えてしまいました。

以前から興味があって始めたスクーバダイビング。海の神秘さやその面白さにはまり、毎週のように海に通いました。夏場だけでなく冬場も潜りたいと思いついて、ドライスーツを購入し、いろんなボ



イントに潜りたいとランクを上げました。とあるショップの年間ダイブレース(潜行本数)で表彰されたこともありましたが、寄る年波には逆らえず、体力も低下し、最近では行けなくなりました。そこで、今度は海釣りを始めました。

夜中に家を出発し、ポイントに着くとしばし仮眠、夜明け頃に釣りはじめます。色々と道具を揃え、最近は魚種を増やしたくてアジ、メバルに挑戦しようと思っています。ゆくゆくはシーバス(スズキ)や青物(ブリ、カンパチなど)も釣りあげたいものです。

さて、私の職場でも昨年から新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環でリモートワークが導入されました。家のリビングには家族もいますので、別室での仕事になるため折り畳みのテーブルを買いました。しかもアウトドア用のものを。これを機に災害対策を口実に、防災グッズと称して、アウトドア用品を揃えていくでしょう。そうすると「キャンプも始めたいな。」なんて・・・。

当然ながら、舞台技術の仕事にもこだわりを持って臨んでいます。仕事も趣味も突き詰めていけば奥深いもの。どちらも自分なりのスタイルを追求していきたいものです。しかしながら、それが趣味となると欲しいものが増えていくばかり・・・。果たして、いつになったら良識のある「いい大人」になれるのでしょうか。

あなたの楽器見せてください

熊工OBウインドアンサンブル
工藤 一規「かずき」

クラリネット

このクラリネットは高校2年生の時に祖母に買ってもらいました。かれこれ20年近く愛用しています。高校生の頃、吹奏楽部に興味本位で入部し、当時は楽譜も全く読めず、音楽やマーチングを必死になって練習したのを今でも覚えています。本来木管楽器はともデリケートで、炎天直下の屋外演奏はタブーだったのですが、マーチングコンテストの全国大会や甲子園での野球応援など、数多くの演奏をこなしてきました。もちろん楽器は懇切丁寧に扱うべきですが、この楽器と色んな場所を巡り、活躍させる事を優先していましたのでその頃の思い出とともに本当にかけがえない相棒です。

クラリネット、吹奏楽、マーチングの面白さに感銘を受け、数多くの貴重な体験をさせていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響で、これまでと大きく環境が変化していく中、今後も新たなご縁を大切にしながら、OBバンドの団長として、かつての旧友、先輩、後輩方と一緒に少しでも長く積極的に音楽活動を続けていきたいと考えています。



工藤 一規【くどう かずき】
熊工OBウインドアンサンブル団長



ビュッフェ・クラリネット R13

寄稿

宇土市民会館 館長 高木 恭二

藤原道山 尺八コンサート

2020年10月15日
宇土市民会館

藤原道山さんの演奏会を宇土市民会館で実施したいという永年の思いが、宇土市内の中学三年生全員を招待して行う「本物の舞台芸術鑑賞事業」という形で実現しました。

これは、地方に住む子どもたちに、一流の芸術に生でふれてもらう機会をつくらうと宇土市民会館が一九年前から年に一回行っている自主事業です。

しかし、時あたかもコロナ禍の真最中。入場者は定員の半数、感染症対策、出演者の移動リスク等々経験のない状況を藤原さん・県立劇場と協力しながら乗り越えなければなりません。それでも実現したい演奏会でした。

コンサートは二部形式にし、中学生は大ホールで、一般のおとなは大会議室で定員八〇名という形で行いました。

尺八という耳慣れない伝統楽器に中学生の反応を心配しましたが、おとなの杞憂を見事に吹き飛ばし、生徒たちは聴き入り、感動し、何より楽しげでした。

おとなの方々の喜び、感動、涙・・・言うまでもありません。

すばらしい演奏を行っていただきました藤原さんやピアノリストのKeikoさん、それに県劇ネットワーク事業として最大限のご支援ご協力を惜しまれなかった県立劇場スタッフの皆さんに心から謝意を申し上げます。

Performance Lineup

熊本県立劇場 文化事業
2021年度 公演ラインナップ

鶴屋百貨店・熊本県立劇場 共同企画 フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン

12/17 金 開演19:00
県立劇場コンサートホール
【全席指定】
S席 7,000円
A席 5,000円
※25歳以下の方は
S席4,000円、
A席2,500円



©MaxParovsky

鶴屋百貨店×熊本県立劇場の共同企画！
ウィーン・フィルとベルリン・フィルの精鋭ら7名
によるアンサンブルをお届けします。

【出演】フィルハーモニクス ウィーン=ベルリン
【曲目】●J.シュトラウスII/喜歌劇「こもり」
序曲 ●スティング/イングリッシュマ
ン・イン・ニューヨーク ほか

全国共同制作オペラ「夕鶴」

2022年 開演14:00
2/5 土 県立劇場演劇ホール
【全席指定】
S席 8,000円
A席 6,000円
※25歳以下、
障がいのある方は
各席3,000円引



指揮：鈴木優人

熊本在住で国際的に活躍する岡田利規の新演出
によるオペラ「夕鶴」を上演。鈴木優人を指揮
に迎え、新たな「夕鶴」をお届けします。

【出演】指揮：鈴木優人、演出：岡田利規、出演：
小林沙羅、与儀巧、三戸大久、寺田功治

熊本市民会館事業 熊本県立劇場と熊本市民会館は、2021年度も協働で文化事業に取り組みます。

4/11 日 熊本地震発生から5年「私たちの未来」
熊本地震からの復興を祈念した、朗読と邦楽器コンサート

7/7 水 出田りあ & 村治佳織デュオリサイタル
マリンバとクラシックギターのコンサート

8/9 月 絵本 de クラシック「ブレーメンの音楽隊」
0歳から楽しめる、絵本を使ったコンサート



絵本 de クラシック「ブレーメンの音楽隊」

新日本フィルハーモニー交響楽団

7/15 木 開演19:00
県立劇場コンサートホール
【全席指定】
S席 5,000円
A席 4,000円
B席 2,000円
※25歳以下、
障がいのある方は半額



新日本フィルハーモニー交響楽団によるオー
ルベートーヴェンプログラムの演奏会。

【出演】指揮：大友直人/ピアノ独奏：清水和
音/管弦楽：新日本フィルハーモニー交
響楽団

【曲目】●ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番
変ホ長調「皇帝」op.73 ●ベートーヴェ
ン/交響曲第7番イ長調op.92 ほか

第63回 熊本県芸術文化祭オープニングステージ「バレエ」Never Stop Moving!

8/29 日 開演14:00
県立劇場演劇ホール
【全席指定】
S席 4,000円
A席 3,000円
※25歳以下、
障がいのある方は半額



国内外で活躍する振付家・島崎徹が手掛ける
コンテンポラリーダンスとバレエによるステージ。

【構成・演出・振付】島崎徹(振付家)
【振付】佐藤想美

能でよむ～漱石と八雲～

11/6 土 開演14:00
県立劇場演劇ホール
【全席自由】
2,500円
※25歳以下、
障がいのある方は
1,500円



撮影：川面健吾

漱石と八雲、二人の奇妙な縁を“能”と“怪談”
をキーワードに読み解いていきます。
※観劇サポートあり(手話付き上演、音声ガイド)

【出演】安田登、玉川奈々福、塩高和之
【聞き手】木ノ下裕一
【企画制作】あうるすぽっと

劇場って楽しい!!

11/13 土 開演14:00
県立劇場演劇ホール
【全席自由】
500円



知的・発達障がい児(者)のための劇場体験
プログラム。
※観劇サポートあり(手話通訳、字幕)

【出演】アンサンブル・リュネット(フルートア
ンサンブル)、森岡光(司会)